



# 第1会場●2F 第4研修室

■司 会／福原 英忠 島根県吉賀町教育委員会・派遣社会教育主事  
山田 浩史 広島県東広島市立河内西小学校 教頭

## 分科会の進め方

10:45~10:50

### 1 市民が立ち上げた観光ボランティアガイドの創意工夫 ー水木しげるロードはこげな所ー

10:50~11:20

島谷 修(鳥取県境港市 境港観光ボランティアの会)

発足は平成22年、きっかけはJR西日本からのディスカバーウエストハイキングの依頼である。市民5人が2か月間で「観光ボランティアの会」を立ち上げ、ガイドの実習を受け、「手引書」と「規約」を作成して実践に着手し、4月からのスタートとなった。その後ボランティアガイド養成講座を4回開催し、現在、会員は9人である。活動日は毎週日曜日の10:30、境港駅前出発としている。ガイドの基本は手引書で決めているが、個別のエピソードを研究して「こげな所」の中身については案内者の個性が発揮できるよう工夫している。

### 2 食育で一石五鳥の喜び広がる周南 ー市民・行政・大学の協働で進める青少年育成支援の発想と方法ー

11:25~11:55

木村弥々子(山口県周南市 環境ネットワーク山口 事務局長)

周南市が企画した山口県立大学が後援する地域環境アドバイザー養成講座を終了した受講生が、「食」を通じた健全な若年層の育成を企図して設立、平成22年1月から活動を開始した。中央公民館を活用し、県立大学・市健康増進課と連携しながら「学ぶ喜び・作る喜び・美味しい喜び・一緒に食べる喜び・体にいい喜び」の発想のもと、食育に強い関心をもつ市民の方々に、座学と調査・調理実習等の体験活動を組み合わせたワークショップ、青春旅立ち料理教室などを企画・実施している。

### 3 地域婦人会による教育参画事業 ー地域の子どもは地域で育てる婦人会活動ー

12:00~12:30

西山 智子(長崎県諫早市 諫早市連合婦人会 会長)

平成19年長崎県子ども政策局子ども未来課の子育て支援補助金を契機に活動を開始した。会は9地区の組織に分かれ、会員数は約1,100名である。「地域の子どもは地域で育てる」という思想を具体化するため、各小学校の学校行事、授業参観、PTA活動などの時に乳幼児の託児を引き受けたのである。実施方法については校長会および各PTAと協議の上実施している。授業参観への集中、保護者からの謝辞、幼児グループの形成、会員と保護者世代の交流、婦人会の社会貢献機能の社会的承認など多面的な効果を上げている。